

## お客様とともに歩む都産技研

4月1日付けで都産技研の理事長に就任しました。平成19年4月から理事として勤めてまいりましたが、あらためましてよろしくお願ひ致します。

おかげさまで、平成19年度は多くのお客様に都産技研をご利用いただき、依頼試験96千件（前年度比18%増）、機器利用37千件（前年度比14%増）、技術相談81千件（前年度比7%増）等の実績を上げることができました。厚く御礼申し上げます。

さて、2008年は年初から原油高、株安、そしてドル安円高と経済の不安定要因が増し、中小企業の経営環境はますます厳しいものになってきております。こうした状況を打開していくべく、都産技研としても、従来以上に中小企業の皆様に対する技術支援を強化し、中小企業の事業成果につながる活動を展開する所存です。

この活動強化のため、都産技研ではあらたな経営ビジョンとして、「時代の先を読み、技術の力で、産業をリードする」を掲げました。そして、この具体策として、1) ニーズオリエンテッドな事業運営、2) 戦略的な技術力強化、3) 事業化を見据えた技術支援、の3つの方針で都産技研を運営してまいります。



地方独立行政法人  
東京都立産業技術研究センター  
理事長 片岡 正俊

### (1) 「ニーズオリエンテッドな事業運営」

都産技研の主要事業であります、技術相談、依頼試験、研究開発、セミナー等すべての活動において、いつもお客様の事業にとって必要なものはなにかの視点で、産業界、学会、市場をウォッチし、新たな提案を進めてまいります。

### (2) 「戦略的な技術力強化」

都産技研の継続的な技術力強化を戦略的に進めてまいります。時代の先を読むことで、今後産業界に必要とされる技術の方向をロードマップとして定め、そのロードマップに沿って、都産技研の技術開発を進め、中小企業のイノベーションに役立てていく所存です。

### (3) 「事業化を見据えた技術支援」

当センターの技術支援はお客様である中小企業の事業の成功を見据えて行います。技術支援の成果が事業という形にならない限り成果を都民に還元することができません。お客様のマーケットを見据えた技術支援を行ってまいります。

昨今の経済情勢には厳しいものがあり、さらに時間とともに変化していきます。わたくしども都産技研はつねに、中小企業の方々と共通の問題意識をもってイノベーションにとりくみ問題解決を図っていく、「お客様とともに歩む都産技研」を目指してまいります。なにとぞ、都産技研の積極的な活用をお願い致します。